

小原小学校「七巻き様伝説」の誕生と今

「七巻き様伝説」は、平成14年、小原小学校の5年生12人が創作したものです。「上小原地区に伝わる『七巻神社伝説』を、歌と踊りで表現することはできないだろうか」と考え、地域の方や先生方の力を借りながら創り上げたものです。出来上がった「七巻き様伝説」は、小原小学校の学習発表会で発表されたことをきっかけに、多くの人々の知るところとなります。5年生12人の取組から始まった「七巻き様伝説」は、その後、全校の取組へと広がりを見せ、今では1年生から6年生までの児童が演じる小原小学校の伝統となっています。

「七巻き様伝説」は、「平成」という時代が終わり、「令和」の新たな時代に語り継がれています。

